

令和4年度 延岡市立浦城小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】 児童が夢や希望と自信をもち、これからの社会をたくましく生き抜いていくために、少人数の特性や地域性を生かして、浦城小学校ならではの教育(一人一人に合わせたきめ細かな指導、見届けの指導、中学校や地域との連携)を計画的、継続的、組織的に展開することによって、確かな学力、思いやりの心、たくましさを身に付けた児童を育成する。(「浦城っ子七箇条の推進」)

【評価基準 4:期待を上回る 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

評価項目	重点指導項目	方策・手立て ⇒ 達成状況等 ※○数字はアンケート ※「児童」「保護者」は肯定的な回答(A・B)の割合	成果と課題	自己評価		改善策等	学校関係者評価委員	
				項目	総合		評価	意見
1 確かな学力の向上	1 主体的な学習態度及び活用する力の育成	(1) 児童が「分かった!できた!」と実感できる授業実践 ① 学校は進んで学力の向上のための取組を行っている。 ② 子どもは、授業中しっかり学習に取り組んでいる。(参観日など) ⇒「児童」①②ともに全員A評価 ⇒「保護者」①②全員A評価  (2) ICTの効果的な活用 ③ 授業等でICTを積極的・効果的に活用している。 ⇒「児童」全員A評価 ⇒「保護者」全員A評価	(1) 研究授業の実践(2回)を行い、11月には、南浦中・熊野江小との合同研修会を開催した。一単位の時間の中で、自分の考えと相手の考えを比較しながら、自力解決できるような手立てをとり、主体的に学習に取り組む態度を育成することができた。  (2) 多くの教科学習でロイロノートを使い、意見交換や発表に積極的に活用してきた。また、ICTとノート指導のそれぞれのよさを生かした指導を行いながら授業改善を図ることができた。はらはらわくわくふるさと体験隊(※以下「はらわく」と表記)での体験内容や感想も事後学習の中で一人一人がロイロノートを使用してまとめている。	3.9	3.7	○ 主体的に対話的な学びを目指し、ICT支援員に授業づくりを相談しながらICTの効果的な活用やノート指導、教師の関わり方など、これまでの取組を継続・発展させた1・5年の複式指導に取り組んでいく。 ○ Google Classroom やロイロノートを活用して他校とオンラインでの交流を図る。	3.6	○ 「分かった!できた!」と実感できる授業づくりに取り組んで学力向上に努めてもらいたい。次年度は1・5年生の複式指導になり、負担が増えそうだが、個に応じた指導に取り組んでいってほしい。 ○ ICTの効果的な活用や多くの学校や児童達との交流を深められるような教育活動に取り組んでほしい。
	2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	(3) 個に応じた指導の充実 ④ 教職員は、一人一人の子どもに応じて分かりやすい授業を行っている。 ⇒「児童」「保護者」全員A評価  (4) 反復練習及び陰山メソッドの取組 ⑤ 毎朝のがんばりタイムで音読・100マス計算に取り組む、基礎的・基本的な学力向上に努めている。 ⇒「児童」「保護者」全員A評価	(3) 少人数のよさを生かし、ICTの活用や個に応じた指導に取り組み、一人一人が分かる、できるまでしっかり見届けた指導を行うことができた。  (4) 朝の時間にがんばりタイムを設け、音読・100マス計算に毎日取り組み、基礎学力の向上を図ることができた。			3.9		○ 一人一人の実態を把握し、それぞれの長所を伸ばし、弱点を補う指導の工夫に取り組んでいく。 ○ 音読・100マス計算は1年生の実態に応じた内容を工夫し、段階を踏んで取り組ませていく。

1 確かな学力の向上	3 読書活動の充実と豊かな表現力の育成	<p>(5) 一斉読書、読み聞かせ、親子ふれあい読書等による読書活動の推進</p> <p>⑥ 進んで読書をし、本に親しもうする態度を育成できるような取組を工夫している。 ⇒「児童」50% ⇒「保護者」100%</p> <p>(6)積極的な作品応募の推進</p> <p>⑦ 相手を考えて話すことや分かりやすく伝えることができるようになってきている。 ⇒「児童」100% ⇒「保護者」100%</p>	<p>(5) 11月に読書月間を設け、児童のアイデアから読書ビンゴや児童と職員全員による読み聞かせ、職員おすすめの本の紹介等に取り組み、読書を楽しむ姿を見ることができた。延岡市立図書館の職員による読み聞かせやふくろう号の活用もできた。</p> <p>(6) 作文を投稿し、宮崎日日新聞と夕刊デリーに全員複数回掲載された。はらわくへ年間を通じて7回参加し、他校の児童と話し合いや体験活動を通して、自分の意見を伝えようとする態度が身に付き始めている。</p>	3.4	3.7	<p>○ 読書月間を設定し、児童・職員による読み聞かせをはじめ、読書の楽しさに触れられるような内容を工夫していく。親子ふれあい読書への取組を啓発していく。</p> <p>○ 新聞への投稿を目指した作文指導や様々な交流を意図的に設定しながら自分の考えを分かりやすく伝える等、豊かな表現力の育成を目指していく。</p>	3.9	<p>○ 本を読むことの大切さに一人一人が興味を持てるような取組(読み聞かせ等)を実践してもらいたい。</p> <p>○ はらわくへ参加したことで、良い勉強になっているので、たくさんの人前でも発表したり、行動したりできるようにしてってもらいたい。</p>
	4 効果的な家庭学習の習慣化	<p>(7) 効果的な家庭学習の工夫と見届け</p> <p>⑧ 教職員は、学習内容を確実に定着させるために、家庭学習への手立てや働きかけをしている。</p> <p>⑨ 家庭で学習する習慣が身に付いている。 ⇒「児童」⑧⑨100% ⇒「保護者」⑧⑨100%</p>	<p>(7) 長期休業中の課題の中でタブレットPCを活用しており、家庭でもスムーズにICTを利用することができた。日頃の課題については、その日に学習した内容や既習内容で定着しづらいものを選ぶ等、子どもたちの実態に応じた内容にしている。また、提出された課題についてはしっかり目を通し、丸付けややり直しにも最後まで見届けようにしてきた。</p>	3.5		<p>○ 一人一人に応じた効果的な家庭学習について指導を継続していく。長期休業中の課題は今後もオンライン学習教材を活用していく。家庭での習慣化については家庭訪問や懇談会等を活用しながら家庭と連携を図り、取り組んでいく。</p>	3.7	<p>○ 家庭での学習でのICTの活用が素晴らしい。少人数でもしっかり学習できている。</p>
2 豊かな心の育成	1 自ら考え、実行する態度・判断力・実践力の育成	<p>(1) ボランティア活動等による気付き、考え、行動する力の育成</p> <p>⑩ 朝のボランティア活動や給食・清掃指導等によって、気付き、考え、行動する児童の育成に努めている。 ⇒「児童」100% ⇒「保護者」全員A評価</p> <p>(5) 個々の児童のよさを引き出す指導の充実</p> <p>⑪ 自分のことは自分ですることができている。</p> <p>⑫ 最後までやり抜く力が付いている。 ⇒「児童」⑪⑫100% ⇒「保護者」⑪⑫100%</p>	<p>(1) 少人数の特性を生かし、栽培活動での水やり・草取り、給食の準備や後片付け、清掃と少ない人数でもしっかり取り組めるように活動内容や役割分担等を工夫しながら、職員も一緒に活動するようになってきた。</p> <p>(5) 学校教育活動全体を通して様々なことに挑戦させてきた。成功したときは褒め、上手いかなかったときにはどうすればできるようになるかを一緒に考え、職員全員で根気強く取り組ませるように努めてきた。</p>	3.3	3.5	<p>○ 学習・生活の様々な場面で自己決定が必要となるような言葉かけ等を意図的に行い、一緒に活動しながら見届けまで行っていく。</p> <p>○ はらわくの参加にあたっては、自分のことは自分で最後までやり切ろうとする力も身に付けられよう、今後も事前・事後学習を計画的に実施していく。</p>	3.5	<p>○ 一人一人の個性を大切にしながら、何事にも最後までやり遂げることで達成感を感じられるようにしてもらいたい。</p> <p>○ 期待の大きさが個性を超えた強制にならないようにしていただきたい。</p>

2 豊 かな 心 の 育 成	2 家庭・地域との連携をととした基本的な生活習慣の定着	(2) 学校保健委員会での取組等を元にした指導 ⑬ 私は、規則正しい生活を送るようにしている。 ⇒「児童」50% ⑭ 学校は、基本的な生活習慣の確立をめざして、学校保健委員会やすくすくタイム等でタイミング良く指導している。 ⇒「保護者」100%  (3) あいさつや返事、時と場を考えた言葉づかいの徹底 ⑭ 明るいあいさつや返事ができている。 ⇒「児童」全員A評価 ⇒「保護者」100%	(2) 学校保健委員会、家庭教育学級などを通して基本的な生活習慣の確立を目指した内容について親子で考える機会を計画的に設けてきた。長期休業中や南浦中学校のテスト期間に合わせた生活リズムチェック週間を設定したり、メディアコントロールについてすくすくタイムを活用して繰り返し個別指導を行ったりすることができた。  (3) 登校時、下校時の元気な声でのあいさつは定着してきた。はきはきとした返事や受け答えをする姿も見られるようになってきている。	3.6		○ 南浦中学校区で基本的な生活習慣の確立を目指し、メディアコントロールに関する取組を共通実践していく。家庭訪問や参観日、懇談会等を活用して、家庭での具体的な取組を啓発していく。 ○ はらわくや交流学習等の活動、家庭や地域との連携を通して気持ちの良いあいさつ・返事に取り組ませていく。	3.7	○ あいさつや返事がよくなってきている。基本的な生活習慣の確立や自立に向けて、学校と家庭が連携して指導していく必要がある。
	3 自他を大切に する心 情の 育 成	(4) 様々な体験活動をととした思いやりの心や人権意識の醸成 ⑮ 学校は、いじめや差別のない温かい人間関係づくりに努めている。 ⑯ 楽しく学校に通っている。 ⇒「児童」⑮⑯全員A評価 ⇒「保護者」⑮⑯100%	(4) 毎月1回のアンケートでは、学校生活は楽しいと答えていた。教育相談では教職員4名で分担しながらしっかり子どもたちの話に傾聴してきた。職員内で必要なことはすぐに情報を共有し、職員全員で声かけや見守りに努めることができた。	3.9	3.5	○ はらわくや屋休みのふれあいタイム等の体験活動、下級生のお世話等を通して思いやりの心や人権意識の醸成を目的とした教育課程を組み、実践していく	3.8	○ 自他を大切に する心 情は大人にな っても大切である。
	4 コミュニケーション能力の育成	(6) 相手の気持ちを考えながら表現できるコミュニケーション能力の育成 ⑰ 学校は明るくすっきりとした環境整備に努めている。 ⑱ 友達や周りの人への思いやりのある言葉かけや行動等コミュニケーション能力が育っている。 ⇒「児童」⑰⑱全員A評価 ⇒「保護者」⑰⑱100%	(4) はらわくへ参加することで、他学年や同級生等大人数の子どもたちと交流することができた。回を重ねる毎に自分から声をかけたり、下級生の世話をしたりするようになり始めている。11月の熊野江小との合同遠足では、1年生のお世話を積極的にする姿が見られるようになってきている。	3.7	3.6	○ 他校の児童や異学年、地域の方々との交流などを意図的・計画的に実施しながら、自分の考えや意見をしっかりと相手に伝えられるようにコミュニケーション能力の育成に努めている。	3.6	○ はらわくはとても良い体験で、感性が豊かになり、少人数では高めにくいコミュニケーション力も伸ばすことができると思うので楽しんで取り組めるようになってほしい。
3 たく ま し さ と 安 全	1 たくましい体づくりの習慣化による基礎体力の向上	(1) 日常的な活動を通した楽しい体づくりの工夫  (2) 新体力テストにおける個人到達目標の設定とそれを達成するための指導の工夫 ⑲ 健康でたくましい子どもを育てるために体力向上に努めている。 ⇒「児童」「保護者」全員A評価 ⑳ 外遊びなど進んで運動している。 ⇒「児童」「保護者」100%	(1) 毎週金曜日の朝の時間に季節に応じた運動に取り組んできた。屋休みは職員も入ってバドミントンやサッカーを行った。港小・島野浦小と水泳指導で交流学習を実施した。港小とはプール開きからプール納めまで一緒に学習し、競い合いながら自己記録を伸ばすことができた。  (2) 新体力テストの結果に応じたサーキットトレーニングや主運動につながる運動遊びを授業に取り入れることができた。	3.7	3.6	○ 次年度も港小との水泳指導の交流学習を計画していく。季節に応じた運動や屋休みの遊び等、地域の方々や外部講師との連携も図っていく。 ○ 今後も児童一人一人の個人到達目標に応じたサーキットトレーニング等を授業に取り入れていく。	3.9	○ 体力が付いてきていると感じている。さらに健康づくりに取り組んでいてもらいたい。

意識の育成	2 家庭・地域との連携をととした安全で健康な生活を営む態度の育成	<p>(3) 危険予知・危険回避能力、自己管理能力の育成(浦城区消防団との連携)</p> <p>⑲ 学校は、安全な登下校や危険から身を守る態度の育成に努めている。 ⇒「児童」「保護者」全員A評価</p> <p>⑳ 生活リズム(早寝 早起き 朝ご飯)が身に付いている。 ⇒「児童」50% 「保護者」全員A評価</p>	<p>(3) 避難訓練を地震・津波、風水害、火災、不審者対応の4回実施した。実際に避難場所(延岡ゴルフクラブ)までの移動や、保護者に迎えをお願いした上での引き渡し、地域の消防団と連携した火災の避難訓練、延岡警察署と連携した不審者対応訓練を計画・実施できた。</p> <p>登下校中、サル出現等危険なときは、職員も見守りに出かけた。</p> <p>すくすくタイムや学級活動の時間を使って、すくすく日課表を担任・養護教諭とともに作成した。生活リズムチェック週間には子どもたちと一緒に振り返りを行うことができた。子どもたちと、保護者との意識の違いがあることが分かった。</p>	3.4	3.6	<p>○ 地域の施設や消防団、警察署、家庭との連携を図った避難訓練の実施や登下校の安全指導にも積極的に取り組んでいく。</p> <p>○ 基本的な生活習慣の確立を目指し、家庭との連携や長期休業中の「生活リズムチェック」週間の設定、南浦中学校のテスト期間に合わせた「ノーメディアデー」の設定にも引き続き、取り組んでいく。</p>	3.4	<p>○ 消火訓練を区、地元消防団と連携して実施していることは、いざというときに役立つことと地域でどのような団活動をしているか知るよい機会になり、火の怖さや避難の仕方も身に付いていく。他の連携にも積極的に取り組んでもらいたい。</p>
	3 食育の推進と望ましい食習慣の定着	<p>(4) 家庭と連携した食育、地域のよさを生かした地産地消の推進</p> <p>㉓ 学校は給食指導や食に関する指導を通して食育に努めている。 ⇒「児童」「保護者」全員A評価</p>	<p>(4) 新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとりながら、配膳等の当番活動指導やマナー指導に努めてきた。</p> <p>夏野菜やサツマイモ、空飛ぶ新玉ネギの栽培活動を通して、食べ物への関心を深めることができた。</p>	3.8		<p>○ 配膳や食事のマナー指導に取り組み、家庭や栄養士との連携を図りながら食に関する指導に取り組んでいく。</p>	3.8	<p>○ 自分たちでつくった物を食べられるうれしさ、感謝の気持ちを大切に、嫌いな物も食べられるようになってほしい。</p>
4 浦城っ子七箇条	浦城っ子七箇条の推進	<p>(1) 時間を守って行動する。</p> <p>㉔ 時間を守って行動している ⇒「児童」100% ⇒「保護者」50%</p>	<p>(1) 時間を守って行動できるように様々な場面で声をかけ、一緒に改善できる方法を考え、自分で決めて行動していけるように見守ってきた。</p>	2.8	3.3	<p>○ 時間を守ることの大切さやその手立てについて一緒に考えながら個に応じた指導していく。</p>	3.5	<p>○ 時間を守ることの大切さをしっかり教えてもらいたい。</p>
		<p>(2) 気持ちのよいあいさつ・返事をする。</p> <p>㉕ 気持ちの良いあいさつ・返事をしている。 ⇒「児童」「保護者」ともに100%</p>	<p>(2) 学校生活全体を通して気持ちのよいあいさつや「はいっ」とはっきりとした返事ができるようになってきている。</p>	3.4		<p>○ 様々な場面で繰り返し指導に取り組み、賞賛や励ましの声かけを行っていく。</p>	3.7	<p>○ あいさつも自分から大きな声でできるようにしてもらいたい。</p>
		<p>(3) 自分のことは自分でできちんとする。</p> <p>㉖ 自分のことを自分でできている。 ⇒「児童」100% ⇒「保護者」50%</p>	<p>(3) 自分のことは自分でやりきろうとする姿を様々な場面で見られるようになってきている。</p>	2.9		<p>○ 自分のことは自分で最後までやりきれるように見守りながら、賞賛したり、困っているようであれば一緒に解決方法を考えたりしながら、達成感を味わえるように指導していく。</p>	3.5	<p>○ 文書等を届けてくれたときのあいさつや対応がよくて気持ちが良い。</p>

4 浦城っ子七箇条		(4) 「分かる できる」までがんばる ㉗ 子どもさんは、「分かる できる」まで頑張っている。 ⇒「児童」全員A評価 ⇒「保護者」100%	(4) 授業中はもちろん、持久走や縄跳びの練習等、自分の目標を立ててコツコツと努力し、あきらめないで頑張ろうとする姿がよく見られた。	3.6	3.3	○ 「分かる！ できる！」まであきらめずに取り組んでいけるよう学習カード等の準備や見届ける指導を行っていく。	3.7	○ 自分が立てた目標に向かって努力することの大切さとやる気を育ててもらいたい。
		(5) 自分の考えをしっかりと伝えている。 ㉘ 自分の考えをしっかりと伝えている。 ⇒「児童」全員A評価 ⇒「保護者」100%	(5) 授業の中では、自分の考えを最後まできちんと発表できるようになってきた。はらわく等での他校の児童との交流では、回を重ねる毎に自分の考えや意見を発表できるようになってきている。	3.1		○ 少人数であるため、伝え合うことについての気付きが少ないので、自分の考えをしっかりと伝えることの大切さについて学校生活全体で指導を行っていく。	3.7	○ はらわくやオンライン学習など自分の考えをしっかりと伝えられるようになってほしい。
		(6) 自分も相手も大事にする。 ㉙ 自分も相手も大切にしている。 ⇒「児童」全員A評価 ⇒「保護者」100%	(6) 帰りの会では「今日の最高」で友達によさに目を向けるようにしたことで、互いによさを認める態度が育ってきている。全職員でよいところは機を逃さずにほめ、自己肯定感を高められるようにしてきた。	3.6		○ アンケートの内容や互いによさに目を向ける指導の工夫に取り組み、学校全体で一人一人のよさをほめ、自己肯定感を高められるようにしていく。	3.6	○ 友達を大事にすることと出会いを大切にしていってほしい。
		(7) 体をきたえる。 ㉚ 自ら体をきたえている。 ⇒「児童」全員A評価 ⇒「保護者」100%	(7) 朝の活動のぐんぐんタイムや体育の時間、昼休み等を使って、新体力テストにおける個人到達目標を達成できるような運動やサーキットトレーニングの紹介・実践、持久走や縄跳びカードを準備してきた。一人一人が自分の目標に向かって鍛え、体力向上に取り組む態度を育成できた。	3.7		○ 体力向上をめざしたさまざまなスポーツへ挑戦するために、昼休みの外遊び、雨の日の体育館での運動、朝のぐんぐんタイムの活用に積極的に取り組んでいく。	4.0	○ 健康であるために食生活を大切にすること、なわとびなど自分一人でもできる運動への取組など、体力をつけてほしい。
学校運営全般と保護者	1 学校運営	(1) 計画的な学校行事の実施 ㉛ 学校行事は、時期・内容等が適切であり、計画的に実施されている。 ⇒「保護者」全員A評価  (2) 参観日の運営 ㉜ 参観日は、時期・内容・回数は適切である。 ⇒「保護者」㉝全員A評価  (3) 新型コロナウイルス感染症対策 ㉞㉟ 学校は、新型コロナウイルス感染予防に適切に対応している。 ⇒「児童」㊱全員A評価 ⇒「保護者」㊲全員A評価	(1) 学校行事については、新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じた上で実施してきた。本年度は、校内の行事だけでなく運動会等地域と連携した行事も行うことができた。 (2) 参観日は計画していた内容を実施できた。学校保健委員会や家庭教育学級、持久走大会やなわとび大会等、内容の充実を図ることができた。  (3) 新型コロナウイルス感染症対策については、社会状況に合わせた対応ができるよう、その都度全職員で協議し、児童に分かりやすく伝えながら全職員で共通実践できた。	3.9	3.9	○ コミュニティスクールとして地域・保護者と連携を図りながら、特色のある学校行事を計画・運営していきたい。 ○ 参観日の内容・PTA活動との連携等を工夫し、オープンスクールも計画していく。  ○ 新型コロナウイルス感染症防止対策については継続して取り組んでいく。	4.0	○ 学校と家庭の連携がよく取れており、学校運営もP(計画)、D(実践)、S(反省)のサイクルがよく機能している。

地域との連携	2 子どもの可能性を信じて使命感に徹し、信頼される教師	<p>(1) 子どもの可能性を信じ一人一人を大切にする教師  ⑳㉑ 職員は、子どもに公平に接し、優しさ、愛情、厳しさをもって指導している。  ⇒「児童」㉑全員A評価  ⇒「保護者」㉑全員A評価</p> <p>(2) 研修に励み、授業を大切にする教師  (3) 教師としての使命感に徹し、信頼される教師  (4) 働き方を考え心身ともに健康で明るい教師  ㉒㉓ 職員は、保護者からの相談に誠実に対応している。  ⇒「児童」㉒全員100%  ⇒「保護者」㉒全員B以上</p> <p>㉔ 職員は、来校者や電話に対して丁寧に気持ちよく対応している。  ⇒「保護者」全員B以上</p>	<p>(1) 児童一人一人のよさや特性を把握するように努め、全職員で情報を共有し、それぞれの指導に生かすことができた。</p> <p>(2) 社会情勢や ICT 等、最新の情報や子どもたちの興味・関心をもとに、45分の授業を大切にしよう努めた。</p> <p>(3) 少ない職員数でも、互いに声を掛け合いながら協力して子どもたちの成長のために使命感をもって取り組むことができた。</p> <p>(4) ワークライフバランスを考えながら、子どもたちのためになることは、前向きに取り組むことができた。</p>	3.9	3.9	<p>○ 学校生活全体を通じて、全職員で見守りながら児童一人一人の実態に応じて、さらによさを伸ばしていく指導に取り組んでいく。</p> <p>○ 「分かる・できる」授業づくりを目指して研修に励み、見届けをしっかりと行いながら学力向上に努める。教師として信頼ある行動・言動をとり、子どものためにワークライフバランスを考えながら働き方改革を進めていく。</p>	3.8	○ 先生方の地域とのつながりを大変重要視しているがゆえに地域からも子どもたちからも信頼されている。
	3 保護者・地域に信頼される開かれた学校づくり	<p>(1) 家庭・地域へのきめ細かな対応、情報発信  ㉕ 学校は、教育目標や教育方針、学校の課題、必要な情報等をPTA総会や学級懇談会、学校だより等を通して、分かりやすく伝えている。  ⇒「保護者」全員100%</p> <p>(2) 南浦地区各小中学校との連携  ㉖ 学校は、保護者や地域と連携し、浦城小ならではの教育に取り組んでいる。  ⇒「保護者」全員100%</p> <p>㉗ 小学校同士、小学校と中学校の連携がよくなされている。  ⇒「保護者」50%</p>	<p>(1) 月1回の学校便りの発行やホームページを活用した子どもたちの活動の様子を紹介、学級での学習や活動の様子を紹介した学級通信等でタイミング良く情報を発信できた。</p> <p>(2) 熊野江小学校との集合学習や遠足、南浦中学校での鑑賞教室(演劇)南浦中学校校区に関する共通実践事項への取組等、計画した内容については、ほぼ実施できた。地域との連携については、学校評議員の方々の協力も得ながら進めることができた。運動会実施後は、地域の高齢者の方々と週に1回、グランドゴルフやポッチャを通して交流している。浦城っ子農園で育てた野菜を日頃お世話になっている地域の方々にも子どもたちが直接届け、感謝の気持ちを伝えることができた。</p>	3.9	3.8	<p>○ 学校便りやホームページ、学級通信等での学校教育活動・児童の様子の紹介とそれぞれ内容の充実を図る。</p> <p>○ 地域・保護者・学校が子どもたちのために協力していくコミュニティスクールの推進を図る。また、南浦中学校区やこれまで交流してきた学校との集合学習にも取り組んでいく。</p> <p>○ 地域の方々との交流(グランドゴルフ・ポッチャ・野菜のプレゼント・イモの収穫)を継続していく。</p>	3.8	○ 学校便りでの内容で活動状況がよく分かる。これからも地域・学校・家庭との連携しながら、子どもたちのためにワンチームで頑張ってもらいたい。